



# 2022年3月期 第3四半期 決算説明会資料

ネットワークシステムズ株式会社 [証券コード 7518]

2022年2月2日

1	2022年3月期 Q1-3（4-12月）業績概要	P.03-11
2	2022年3月期 通期業績の見通し	P.12-14
3	再発防止策の進捗状況	P.15-17

## 第3四半期累計期間の概況

### ● 再発防止策

ガバナンス・企業文化改革の各施策を、計画通り遂行・モニタリング

### ● 業績

事業は継続して好調。

Q1-3として過去最高の受注高・受注残高。

一方で、半導体不足による機器仕入納期の長期化が継続。Q3より機器在庫確保の対策が寄与し始めたものの、売上高・各利益が前年同期比で減少

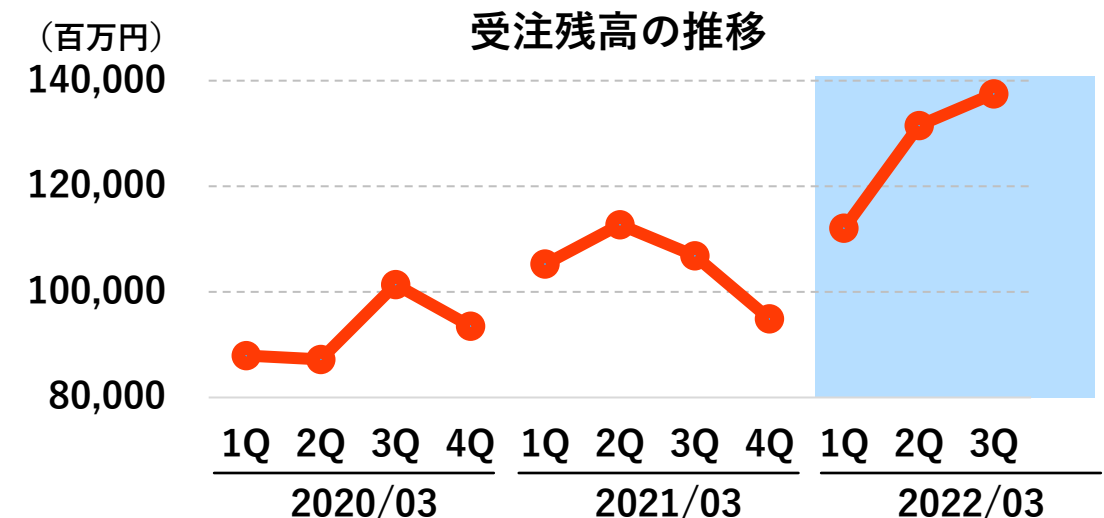
## 通期見通し

### ● 再発防止策

各施策を計画通り遂行・モニタリングしつつ、生産性改善にも注力

### ● 業績

過去最高の受注残高の着実な消化を図る一方で、納期長期化の影響もあり、業績影響を見極め中。



1

# 2022年3月期 Q1-3（4-12月）業績概要

# 2022年3月期 第3四半期累計（4-12月） 業績概要

(単位：百万円)	2021/03 Q1-3 累計実績		2022/03 Q1-3 累計実績		前年同期比	
					増減額	増減率
受注高	144,518		163,735		+19,216	+13.3%
売上高	131,147	100.0%	122,007	100.0%	(9,139)	△ 7.0%
売上原価	94,672	72.2%	87,810	72.0%	(6,862)	△ 7.2%
売上総利益	36,474	27.8%	34,196	28.0%	(2,277)	△ 6.2%
販売費及び一般管理費	24,655	18.8%	25,935	21.3%	+1,280	+5.2%
営業利益	11,819	9.0%	8,261	6.8%	(3,558)	△ 30.1%
経常利益	10,451	8.0%	8,436	6.9%	(2,015)	△ 19.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,261	5.5%	5,227	4.3%	(2,033)	△ 28.0%
受注残高	106,888		137,565		+30,676	+28.7%

通信事業者市場・パブリック市場・パートナー事業を中心に受注が好調に推移し、Q1-3累計では過去最高の受注高・受注残高に一方、半導体不足に起因する機器納期の長期化が継続しており、複数案件の売上時期が遅延し、売上高・各利益が前年同四半期比で減少

# 2022年3月期 第3四半期（10-12月） 業績概要

(単位：百万円)	2021/03 Q3 実績		2022/03 Q3 実績		前年同期比	
					増減額	増減率
受注高	42,846		50,128	113.6%	+7,281	+17.0%
売上高	48,724	100.0%	44,120	100.0%	(4,604)	△ 9.5%
売上原価	35,317	72.5%	31,994	72.5%	(3,322)	△ 9.4%
売上総利益	13,407	27.5%	12,125	27.5%	(1,282)	△ 9.6%
販売費及び一般管理費	8,253	16.9%	8,382	19.0%	+129	+1.6%
営業利益	5,154	10.6%	3,742	8.5%	(1,411)	△ 27.4%
経常利益	3,964	8.1%	3,559	8.1%	(404)	△ 10.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,748	5.6%	1,837	4.2%	(911)	△ 33.2%

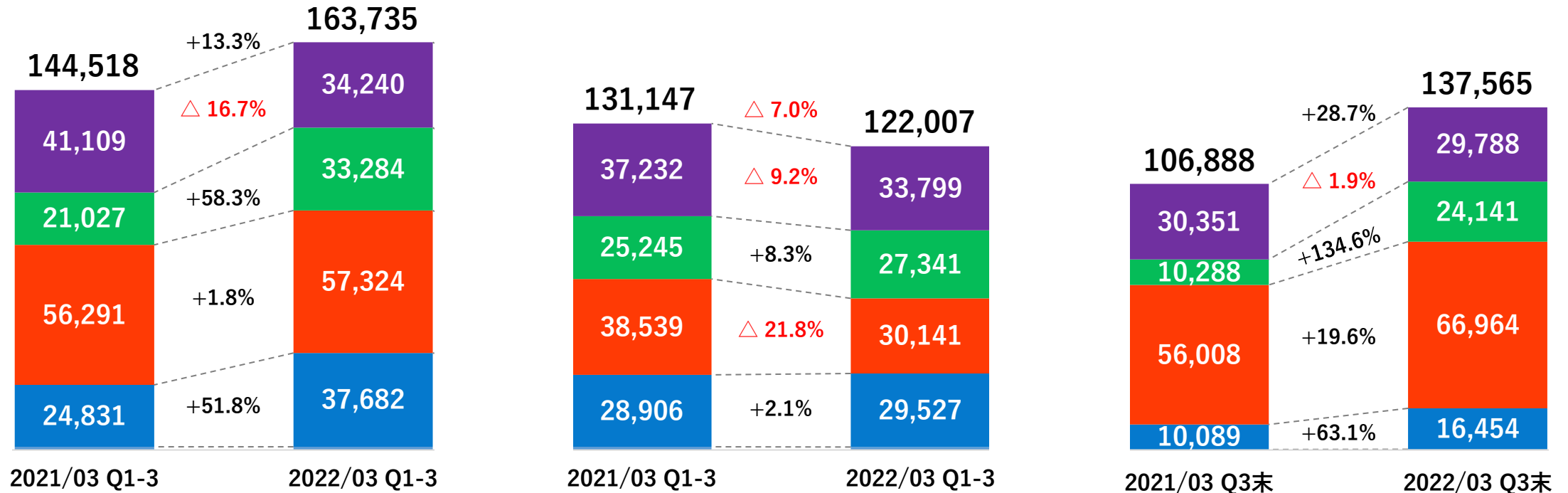
通信事業者市場・パブリック市場・パートナー事業を中心に受注が好調に推移  
一方、機器納期の長期化が継続しており、複数案件の売上時期が遅延し、売上高・各利益が前年同四半期比で減少

# マーケット別 受注高・売上高・受注残高

## ■ 受注高

## ■ 売上高

## ■ 受注残高



### エンタープライズ

製造業では、半導体不足による業績影響の不透明さを背景に投資が控えられたことで、受注高が減少。金融業ではQ2が投資時期の谷間に。また、機器納期の長期化によって売上時期が遅延。

### 通信事業者

テレワーク等による通信量増加に対応した回線増強に向けて、機器納期の長期化を見据えた前倒し発注が継続。MSP及び法人事業の支援は継続して堅調に推移。一方で、機器納期の長期化によって売上時期が遅延。

### パブリック

自治体情報セキュリティクラウド及びセキュリティ強靱化の受注が好調で、前年度のGIGAスクール案件の受注剥落をカバー。売上高においては、機器納期の長期化によって売上時期が遅延。

### パートナー

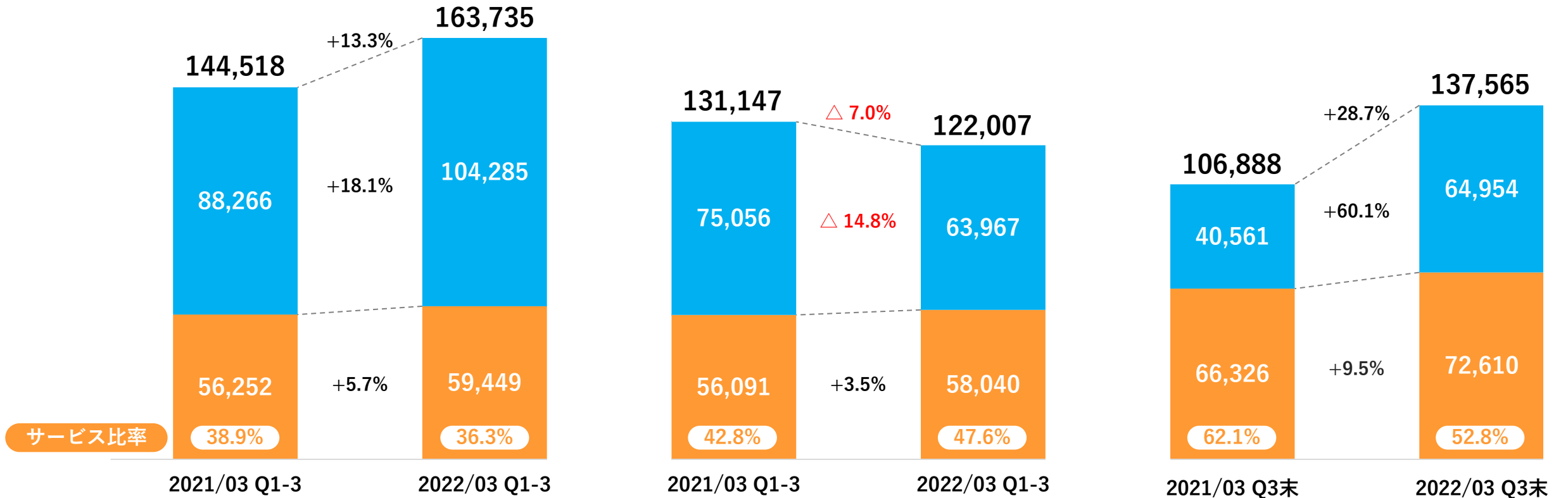
前年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受けていた主要パートナーのビジネスが、全体的に回復基調に。また、Q1に約30億円の5G案件を受注。MSPビジネスも好調。一方で、機器納期の長期化によって売上時期が遅延。

# 商品群別 受注高・売上高・受注残高

■ 受注高

■ 売上高

■ 受注残高



機器

受注高は、通信事業者市場における前倒し発注及びパートナー事業における5G案件を獲得し、前年同四半期比で増加。  
 売上高は、各市場において機器納期の長期化による売上時期の遅れがあり、前年同四半期比で減少。これらに伴い、受注残高が大幅に増加。

サービス

「統合サービス事業」によって、受注高・売上高・受注残高が前年同四半期比で増加



# 注力市場・新モデルの受注高、及び、

# 自治体情報セキュリティクラウド・セキュリティ強靱化の受注高（Q1-3累計）

## ヘルスケア

2021/03 Q1-3	2022/03 Q1-3
19億円	30億円

Q1-3実績：案件が徐々に再開  
Q4想定：継続して徐々に復調

## スクールシステム

2021/03 Q1-3	2022/03 Q1-3
212億円	69億円

Q1-3実績：GIGAスクール案件が剥落  
Q4想定：今年度のピークは過ぎたが  
継続して積み増し

## スマートファクトリー

2021/03 Q1-3	2022/03 Q1-3
48億円	62億円

Q1-3実績：計画を多少超過して推移  
Q4想定：継続して増加傾向を維持

## MSPへの支援

2021/03 Q1-3	2022/03 Q1-3
62億円	158億円

Q1-3実績：セキュリティを軸に好調  
Q4想定：継続して好調を維持

## リファーマビリティ

2021/03 Q1-3	2022/03 Q1-3
10億円	12億円

Q1-3実績：案件の発掘に注力  
Q4想定：今年度の受注のピークに  
利益は継続して好調

## 自治体情報セキュリティクラウド セキュリティ強靱化

2022/03 Q1-3
155億円

Q1-3実績：Q2に大型案件も獲得して好調  
Q4想定：今年度のピークは過ぎたが  
継続して積み増し

(単位：百万円)		報告セグメント					計	その他	合計	調整額	連結 損益計算書 計上額
		エンタープライズ	通信事業者	パブリック	パートナー						
2022/03 Q1-3 【当期】	売上高	33,799	27,341	30,141	29,537	120,818	1,294	122,113	(105)	122,007	
	セグメント利益	2,817	2,612	760	2,688	8,878	(122)	8,755	(494)	8,261	
	利益率	8.3%	9.6%	2.5%	9.1%					6.8%	
2021/03 Q1-3 【前期】	売上高	37,240	25,248	38,545	28,919	129,953	1,258	131,212	(64)	131,147	
	セグメント利益	3,753	2,719	3,461	2,590	12,524	(66)	12,458	(639)	11,819	
	利益率	10.1%	10.8%	9.0%	9.0%					9.0%	

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グローバル事業等を含んでいます。  
 2. セグメント利益の調整額には各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれています。全社費用は主にセグメントに帰属しない一般管理費です。

# 連結貸借対照表

(単位：百万円)	2021.03.31	2021.12.31	前年度末比	
	実績	実績	増減額	増減率
<b>資産合計</b>	<b>155,782</b>	<b>154,755</b>	<b>(1,027)</b>	<b>△ 0.7%</b>
流動資産	142,482	143,478	+996	+0.7%
現預金+有価証券	32,429	21,448	(10,980)	△ 33.9%
売掛金+受取手形	63,027	32,592	(30,434)	△ 48.3%
棚卸資産	17,592	53,577	+35,984	+204.5%
その他	29,432	35,860	+6,427	+21.8%
固定資産	13,300	11,276	(2,024)	△ 15.2%
有形固定資産	4,504	4,475	(29)	△ 0.6%
無形固定資産	1,467	990	(476)	△ 32.5%
投資等	7,328	5,810	(1,518)	△ 20.7%
<b>負債合計</b>	<b>81,987</b>	<b>92,625</b>	<b>+10,638</b>	<b>+13.0%</b>
流動負債	66,637	78,827	+12,190	+18.3%
固定負債	15,350	13,798	(1,551)	△ 10.1%
<b>純資産合計</b>	<b>73,795</b>	<b>62,129</b>	<b>(11,666)</b>	<b>△ 15.8%</b>
株主資本	73,075	61,408	(11,666)	△ 16.0%
その他の包括利益累計額	438	551	+113	+26.0%
新株予約権	222	168	(53)	△ 24.0%
非支配株主持分	60	0	(60)	△ 100.0%
<b>負債純資産合計</b>	<b>155,782</b>	<b>154,755</b>	<b>(1,027)</b>	<b>△ 0.7%</b>

	2021/03 Q1-3	2022/03 Q1-3	前年同期比	
			増減額	増減率
為替レート（\$円）	106.58	109.76	+3.18	+3.0%
1株当たり当期利益（円）	85.70	62.09	(23.61)	△ 27.5%

	2021/03 Q3末	2022/03 Q3末	前年同期比	
			増減数	増減率
従業員（人）	2,547	2,702	+155	+6.1%

## 2

# 2022年3月期 通期業績の見通し

# 2022年3月期 通期業績の見通し (※期初公表値から変更なし)

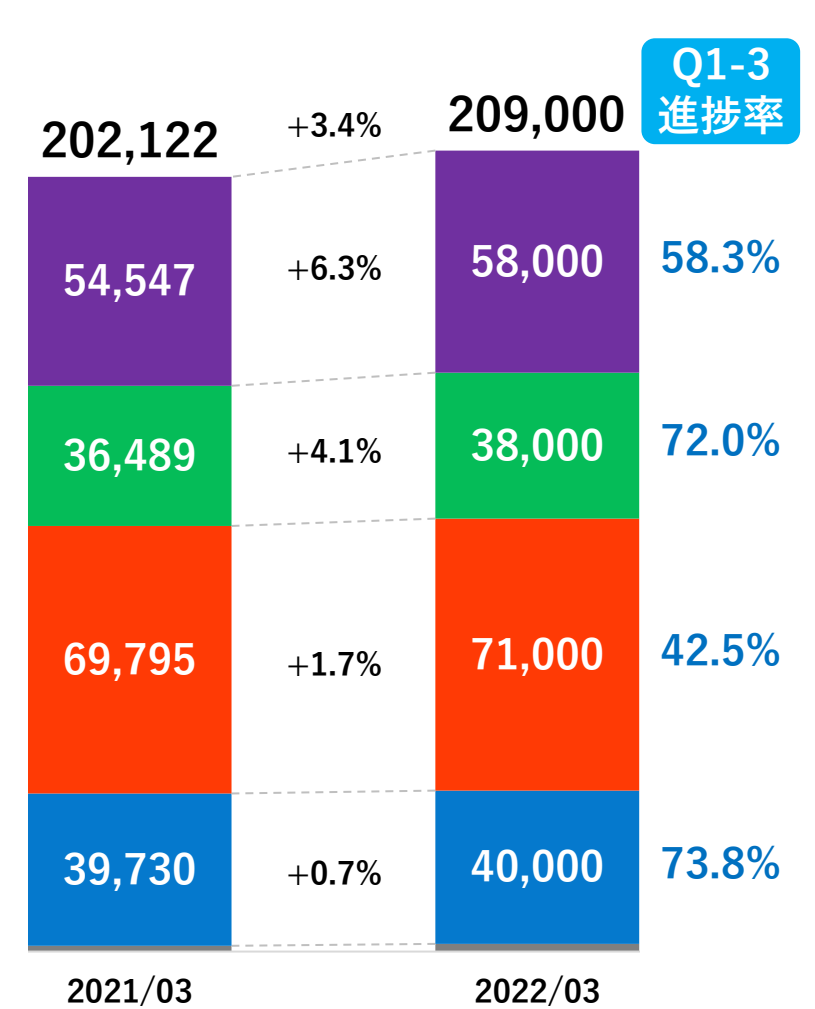
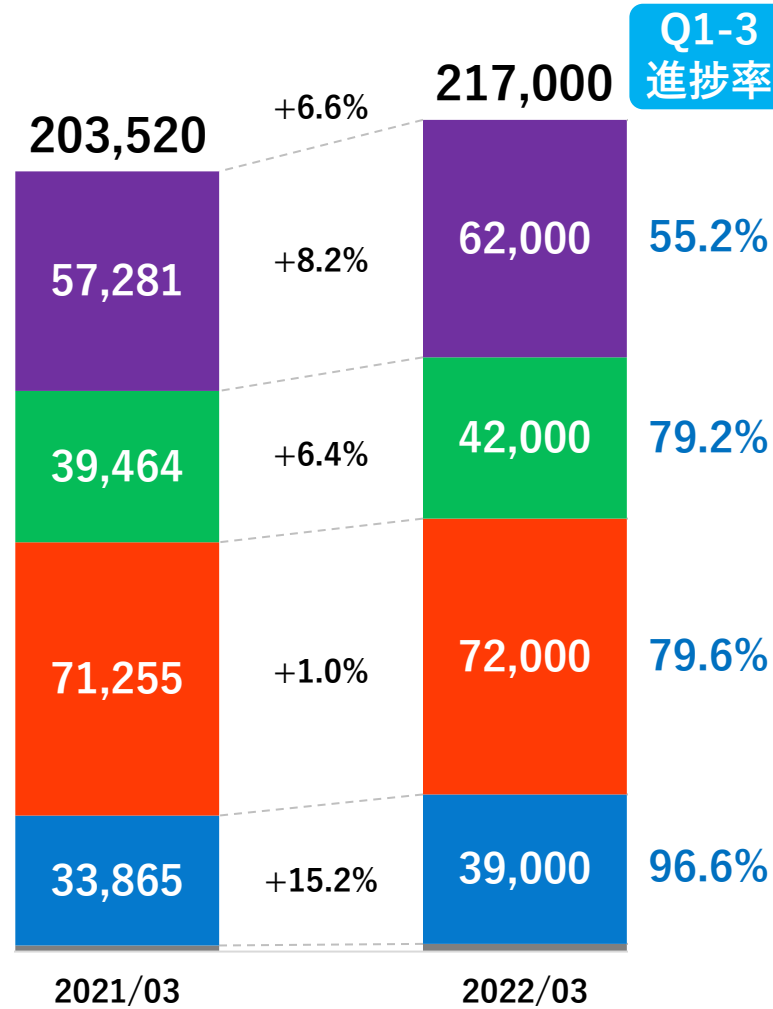
(単位：百万円)	2021/03 実績		2022/03 公表計画		前年同期比	
					増減額	増減率
受注高	203,520		217,000		+13,479	+6.6%
売上高	202,122	100.0%	209,000	100.0%	+6,877	+3.4%
売上原価	146,209	72.3%	151,200	72.3%	+4,990	+3.4%
売上総利益	55,913	27.7%	57,800	27.7%	+1,886	+3.4%
販売費及び一般管理費	36,239	17.9%	35,800	17.1%	(439)	△ 1.2%
営業利益	19,673	9.7%	22,000	10.5%	+2,326	+11.8%
経常利益	18,208	9.0%	22,000	10.5%	+3,791	+20.8%
親会社株主に帰属する当期利益	12,321	6.1%	15,000	7.2%	+2,678	+21.7%

# 2022年3月期 通期業績の見通し：マーケット別（※期初公表値から変更なし）

## ■ 受注高

## ■ 売上高

（単位：百万円）



# 3

## 再発防止策の進捗状況



1.ガバナンスの改革と推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牽制強化のためのチェックリストの全面的な運用 (1.(2)-b/c/d)</li> </ul>
2.リスク管理体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスク管理委員会へ全てのリスク情報が集約される体制を構築(2.(2)-c)</li> <li>・顕在化したリスクの社内開示を開始(2.(2)-d)</li> </ul>
3.業務執行に係る体制及び社内体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務経理部によるチェック体制を整備、運用開始(3.(2)-b)</li> <li>・財務経理部による案件単位での検証について、運用を開始(3.(3)-a)</li> <li>・原価付替防止のための原価管理に向けた原価管理に係るシステム面の刷新・改善につき、運用開始(3.(3)-b)</li> </ul>
4.監査体制の抜本的な見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内部監査室のキャリアパス化に向けた方針検討完了、運用開始 (4.(2)-a)</li> <li>・J-SOXに係るeラーニング形式の研修を開始(4.(3)-d)</li> </ul>
5.従業員の声を集める仕組み	<p style="text-align: center;">全ての施策の整備完了/モニタリング中</p>
6.組織文化の改革・形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人事ローテーション情報管理のためのシステム構築及びローテーションに関連する文書の改訂完了(6.(3)-a)</li> </ul>
7.会計リテラシー教育及び過去不祥事からの学び、啓蒙	<p style="text-align: center;">全ての施策の整備完了/モニタリング中</p>
8.モニタリング体制の継続	<p style="text-align: center;">全ての施策の整備完了/モニタリング中</p>

(注) 再発防止策の詳細項目（青字部分）につきましては、2021年5月13日付「再発防止策の追加について」をご覧ください

1.ガバナンスの改革と推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>取締役候補者及び執行役員の選任基準の見直しおよび関連文書の整備完了(1.(7)-a)</li> </ul>
2.リスク管理体制の強化	全ての施策の整備完了/モニタリング中
3.業務執行に係る体制及び社内体制の強化	全ての施策の整備完了/モニタリング中
4.監査体制の抜本的な見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>J-SOX統制文書の社内見直し完了（最終完了は22年6月を予定）(4.(3)-a)</li> </ul>
5.従業員の声を集める仕組み	全ての施策の整備完了/モニタリング中
6.組織文化の改革・形成	<ul style="list-style-type: none"> <li>人事ローテーションに関連する文書の社内開示 (6.(3)-a)</li> <li>経営ビジョン・行動指針の見直し完了および電子掲示板での社内開示(6.(2)-b/c)</li> <li>上記を反映した、電子版ビジョンブックの改訂完了および社内開示 (6.(2)-c)</li> </ul>
7.会計リテラシー教育及び過去不祥事からの学び、啓蒙	全ての施策の整備完了/モニタリング中
8.モニタリング体制の継続	全ての施策の整備完了/モニタリング中

(注) 再発防止策の詳細項目（青字部分）につきましては、2021年5月13日付「再発防止策の追加について」をご覧ください

つなぐ ∟ むすぶ ∟ かわる



**net one**